



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第134号 2018年10月発行

巻 頭 言

第21回群馬県作業療法学会

学会長 高橋久美子

12月2日群馬大学大学院保健学研究科にて第21回群馬県作業療法学会が開かれます。

今年のテーマは「地域でいきる ～医療から生活へ～」と題し様々な講演や発表等を企画しました。

皆様は“いきる”という言葉聞いて皆様はどのようなイメージを持つでしょうか？子供から高齢者まで年齢によっても、病気や障害の有無や環境によってもイメージするものは違うと思います。一人一人の対象者様のイメージする“いきる”が現実となるよう支援できればと考えます。そして私達作業療法士の働いている場所も様々です。急性期の病院から在宅での訪問や老人福祉施設等、それぞれの場所により支援の方法も様々である為、「～医療から生活へ～」とサブテーマを考えました。

今回基調講演には、群馬県出身の作業療法士であり日本初の国会議員(衆議院議員)となられた堀越啓仁氏をお迎えすることができました。堀越氏は僧侶でもあり今回の基調講演の演者にぴったりだと思います。また一般公開講座には、埼玉県精神医療センターの宇田英幸氏をお迎えし、作業療法について一般の方々にもわかりやすく教えていただけます。ワークショップでは訪問看護ステーションKAZOC渡邊乾氏、群馬県立吾妻特別支援学校の中曽根良雄氏、前橋赤十字病院の原大地氏、3名の方々をお迎えし、それぞれの分野でのお話をさせていただきます。そのほかMTDLPや演題発表、業者展示なども行います。

この機会に様々な講演や他施設の方々の演題発表等を聞いていただき、また他施設・先輩・後輩の方々と交流し、情報交換しながら自身の作業療法士としてのコアな部分の形成にお役立ていただければと思っています。

実行委員一同、この学会が作業療法士皆様の一助となり、すべての参加者の方々にとって意義のあるものとなるよう準備を進めています。

皆様の参加をお待ちしています。

2018年度 第2回理事会 議事録

会 場：群馬大学医学部附属病院 病院大会議室
日 時：平成30年7月25日(水) 19:12～21:32
出席者：理事／新井、関根、山口、勝野、品田、都丸、高坂、
柴田、市川、李、長谷川 監事／小林、唐澤 記録／中嶋

I. 会長から

介護ロボットニーズシーズ連絡協議会に関して報告。
第2回47都道府県委員会2018.7.28～29予定。
今回は事務局長が1日目代理出席し、2日目はオブザーバーで参加することとなった。
審議事項特になし。

II. 各部議事

1) 事務局[長谷川事務局長]

【報告事項】

1. 第3回部門代表者主任者会議について
出席者87名(総会出席76名)
2. 学生会員数 2018.7.23現在 群馬大学 35名 群馬医療福祉大学 25名 前橋医療福祉専門学校 3名 太田医療技術専門学校 3名 合計66名

【審議事項】

1. 倫理問題検討委員会委員長の件 2018年度 倫理問題検討委員会委員長の選任
→榛名荘病院の中澤氏、品田理事へ依頼を検討することとなった。
2. 事務局 財務担当について
2018年度より財務担当を事務局長が担う
 - 1) 会計に関する規約の取りまとめ
・講師謝金 ・講師交通費 ・会員行動交通費
・旅費(宿泊費) ・会議費等
上記に関して、10月をめどに規約をまとめ、HPに掲載(平成30年度版)
会計に関するマニュアル等についても整備し、HPに掲載
 - 2) 2019年度予算に関して
来年度の予算案は、2019年1月の理事会までに各部で作成
2017年度 当期純損失金額(赤字) ￥1,758,060
(2017年度機関紙の費用は含まれず)
 - 3) 各部の会計担当者の把握
2018年度の会計担当者 → リストを事務局まで 氏名・メールアドレス
今後会計に関する通知は、部長、会計係(CC理事)
→各理事に長谷川事務局長から会計担当者リストをメールにて送る。
3. ブロック支部別主任者会議開催に関して
 - 1) 各ブロックでの開催日時
【中・北毛ブロック】
10月25日(木) 19:00～渋川医療センター
締め切り10月21日(日)
【西毛ブロック】
9月28日(金) 時間未定 高崎総合福祉センター
締め切り9月23日(日)
【東毛ブロック】

2018年9月13日(木) 18:00～太田記念病院
締め切り9月9日(日)

2) 会議開催に係る準備等に関して

①次第のたたき台は事務局で用意する。

時間の配分などは各ブロックで異なる。

最終的には担当理事の方で修正をしていただく

②会議開催の通知および公文書の発送については事務局で行う

③出席リストは当該ブロックの主幹理事を行う

4. その他連絡事項

- 1) 各部の名簿の提出をおねがいする。〆切8月31日まで
- 2) 郵送物の配送に関して

研修会の通知などは、出来る限り県士会ニュース等と同封して送りたい。(配送コスト増大の為) 事前に事務局より配送の予定などを通知、それに合わせ書類をご準備して頂く。出来る限り簡素化。各部署にてその旨お伝え頂く。

*補助金事業などで印刷費・郵送費の県士会負担がない場合は除外。

2. 広報部[都丸理事]

【報告事項】

- 1) 群馬県多職種連携推進協議会(オール群馬)

6月より協議会として正式に発足。毎月26日に県医師会にて会議を実施。5つのWGで各取り組みを進めている。多職種の役割紹介を兼ねた冊子の作成について、各団体に作成課題あり後日メール審議とする。各ブロックの連絡先は、当面ブロック担当理事の連絡先とし、今後変更予定。

- 2) 群馬リハビリテーションネットワーク

平成30年度第1回理事会開催(H30.7.4 群馬大学) 群馬リハネットの今後については、今年度の活動をもって理事会組織ではない協議体として活動していく。

名称:群馬県リハビリテーション関連団体連絡協議会

目的:群馬県内におけるリハビリテーションに関連する団体の親睦・連携を図る。群馬県地域リハビリテーション支援センターの運営に助言を行う。

協議会長:和田直樹先生(群馬大学医学部附属病院)

事務局:山路雄彦氏(事務局長、副協議会長)、山上徹也氏(事務局長)、角田祐子氏(事務局員)

構成団体はこれまでと同様に活動

- 3) 公益事業グループ

・高校生一日体験を7月30日から8月10日の期間で実施予定。

・7月4日ビエント高崎にて進学イベントマイナビFESTA高崎の社会人アドバイザーとして広報部員 2名が参加した。参加高校生に社会人としての進路相談や職業紹介を行った

・参加7月17日に第1回公益事業部会を開催し、健康フェスタ、作業療法フェスタ等の開催時期内容を検討予定。

- 4) ニュース編集グループ

・7月号の作成は終了した。8月発刊予定

地域作業療法推進部に精神科グループができたことを記事に掲載。

- ・10月号の作成準備
群馬県作業療法学会を中心に各所へ依頼していく予定。
報告事項やイベント、研修会等の告知・報告があれば
連絡を頂きたい。

5) 広報企画グループ

- ・広報部内での連絡を行う際に使用するメーリングリスト
の検討と作成を実施。
- ・ニュース掲載用に県内で行われている勉強会などの写
真や記事の作成を検討。
- ・継続して他グループとの連携を取りつつ、必要な情報の
発信や企画の検討
- ・13歳のハローワーク社会人アドバイザーに参加し、高校
生への広報活動及びイベントや来場者の様子を写真に
て記録実施

【審議事項】なし

3. 教育部[柴田理事]

【報告事項】

- 1) ブロック長会議:6/7 19:00～22:00
博仁会第一病院
・研修会準備進捗確認
・研修会受付システムの確認(情報未着)
・新人症例座長の在り方
- 2) 研修会報告
開催した研修はなし
特記:職業倫理講師、例年 県立精神 石川氏より辞退
あり、うらく佐藤氏に依頼。各研修随時、講師日程確定
- 3) 今後の活動に関して
・事前受付システム導入検討 研修受付システムの動向が
協会サイトより連絡あり次第、情報共有
・7月24日 教育部ブロック長会議(第一病院)

【審議事項】

- 教育部に副部長の役職を設けることについて
→特に制限は無い。名簿に追加をしていく。

4. 域作業療法推進部[高坂理事]

1) 地域包括ケア推進グループ

【審議事項】

平成30年度県士会予算が、提出当初は総事業費
736,000円(群馬県負担額552,000円、県士会負担額
184,000円)となっていたが、その後、群馬県から修正の
指摘あり、総事業費696,000円(県負担額 522,000円、
県士会負担額174,000円)へ変更。

→承認。

【報告事項】

- ①「介護予防に資する人材育成のための研修会～OT が
地域で活躍するために必要な視点～」の実施について
平成30年8月16日(木) 渋川医療センター(北中毛ブ
ロック)
平成30年9月13日(木) 太田記念病院(東毛ブロック)
平成30年9月28日(金) 高崎市総合福祉センター(西
毛ブロック)
各研修19:00～21:00で実施予定。講師内諾済。
- ②太田市介護予防事業について平成30年8月7日～平
成31年2月20日の間の9箇所のサロンについて、講

師を調整した。今年度は、太田市周辺に在住もしくは、
職場を持つ方々を中心に講師を依頼。

- ③日本作業療法士協会主催「地域ケア会議・総合事業
に関する人材育成研修会」への参加について
青木氏(地域作業療法推進部副部長)、真塩氏(地域
包括ケア推進グループ長)の2名が参加予定。

2) 認知症支援推進グループ

【報告事項】

- ①「認知症ケア資質向上のための研修」の実施について
平成30年10月21日(日)9:50～16:20(予定)群馬県
公社総合ビル・多目的ホール
平成30年11月17日(土)10:00～16:10(予定) 昌賢学
園まえばしホール(前橋市民文化会館)・小ホール
平成31年1月26日(土)10:00～16:10(予定) 高崎市総
合福祉センター・たまごホール上記日時に講師調整中。
- ②日本作業療法士協会主催「平成30年度認知症作業療法
推進委員会」への参加について 平成30 年10月27日
～10月28日に松井氏(認知症支援推進グループ長)、
廣崎氏(認知症作業療法推進委員)の2名で参加予定。

3) 発達支援推進グループ

【報告事項】

- ①平成30年度「外部専門家配置事業」は各ブロックとも
人材を提供できている。
- ②勉強会2回実施(5月11日、7月12日)。
前橋高等特別支援学校専門アドバイザー後藤氏の要
請により、「小中高等学校における発達障害児のアセ
スメントおよび支援」の課題でアセスメントシートの
作成を進めている。今年度中に完成予定。
- ③発達GのHPの解約と更新について。業者との契約満
了(パイロット事業予算内)で解約しjimdoにて作成
することで決定。
月額945円(年額11,340円)を利用。更新次第、県教委
その他各所に連絡し各学校等にアナウンスしてもらう。

4) 精神科領域推進グループ

【審議事項】

- ①自殺予防事業に係る補正予算の申請について
普及啓発事業の一環で、クリアファイルを作成予定だ
ったが、当事者にファイルのデザインを依頼すること
となった。補正予算として、デザイン料(5,000円)を組
んでいただきたい。→全会一致で承認。

【報告事項】

- ①平成30年度「自殺予防対策研修会」の実施について
平成31年2月2日(土)13:30～15:30 群馬県勤労福
祉センター 講師:増川ねてる氏
- ②次年度以降の精神科関連の研修について
6月25日第2回グループ会議に教育部の方々にも参
加していただき、今後の自殺予防研修や現職者基礎
研修(精神科領域)の在り方や効果的な人員募集方
法について意見交換を行った。

5. 福利厚生部[市川理事]

【報告事項】

1) 活動内容

- ・学生会員・県学会にきた学生に対して勧誘していく。
- ・新人県士会員に対してのオリエンテーションについて
は、オリエンテーションを行う機会を増やす(部長の負

担軽減と会員が目に触れる機会を増やす)

- ・県士会(部会)の案内と部会参加の申し込み付きの資料を両面印刷し、各部に配布し、研修会で配布。
- ・優秀演題賞:演題が決定後の流れを資料にして配布していけるようにしていく。2次審査に選抜された方にコメントを送る件は今年度も実施していく。
- ・新人優秀演題賞:今年度も教育部に依頼。表彰者への講評する際、理由を教えてもらいたい→教育部へ確認
- ・優秀学生賞:今年度も継続。
- ・日本作業療法士協会特別表彰の推薦・依頼

2) リレーフォーライフ

- ・案内は作成済み。がんを対象としていない病院からも興味を持って頂けるように編集。
- ・案内は 7/26 の県士会の発送に合わせて作成。県士会のホームページにも掲載を依頼。
- ・イベントは要検討。発電機借りられるか(当日暗かった為)。
- ・応募の締め切りは8月末まで。

3) 「ママ会員の復職に向けた企画」

- ・復職に向けた情報提供:各ブロック支部で開催(年に2~3回)
- ・県学会の方で託児所を借りられるか検討中であるが高額。
- ・子育て中の方(働いている、育休中に関わらず)に向けてアンケートを行う。

Google フォームを使用しアンケート作成→市川→(新井会長)再就職・転職斡旋にもについても検討

【審議事項】

1) オリエンテーションのスライドを作成に関して

県学会や各研修会、学会等の休憩時間に流したい。各部の紹介スライド3~4枚程度で紹介を作成し、福利厚生部で統合。更新は年1回程度。理事会で承認得られれば9月中旬に作成。早ければ10月以降の研修会で流していく。→全会一致で承認。雛形は福利厚生部が作成、各部に送ってもらう。

2) 表彰学術奨励賞の審査時期の重複に関して

学会の演題登録と作業療法ぐんまの締め切りを確認し学会長または実行委員長と協議して進めるので良いか。また、例年の事なので、年間スケジュールを作成し管理していく

→全会一致で承認。進捗確認していく。

3) 福利厚生部主催の研修会

各ブロック支部に分かれてイベント(歓迎会等)を実施していければ良いか。各ブロック会議の際に支部長に話を行い、発案して頂く。→全会一致で承認

6. 地域局の創設及び調査部の創設に関して[山口副会長]

- ・47都道府県士会のブロック支部体制、調査部の設置を可能な範囲で検索した。
→群馬県士会では、位置づけと担当・職務分掌が曖昧、目的が曖昧、タイムテーブルが無い、地域包括ケアシステム、窓口設置との兼ね合いが課題。
 - ・ブロック支部の目的:会員の連携・情報共有の強化、地域の実情に応じた職能団体としての社会貢献
 - ・地域作業療法推進部を局化して対応することは、現状の問題の解決になりにくい。
- ブロック支部を中心とした部局として地域局の創設の準備

備し、ブロック支部は理事会の指示・指導の下、運営していく方向性を検討する

- ・今後の組織改編については、次回理事会までに3役で検討していく。

7. 保険部[勝野理事]

報告事項は特になし

8. 学術部[李理事]

1) 学術研究グループ

【報告事項】

- ・平成30年度の第1回の学会支援勉強会を7/9に開催。参加者は11名(前年度6名)。
- ・昨年度の勉強会参加者中4名が日本作業療法学会(名古屋)に演題が採択された。

【審議事項】なし

2) 学会支援グループ

【報告事項】

- ・第21回群馬県作業療法学会 第1回実行委員会を開催した(5月28日開催)。
- ・第21回群馬県作業療法学会に関する公文書の作成・送付、一般演題の募集、HP管理、予算案の作成を行った。
- ・第21回群馬県作業療法学会学会長挨拶をからっ風通信(7月号)に掲載した。

【審議事項】特になし

3) 機関誌編集グループ

【報告事項】

- ・機関誌「ぐんま作業療法研究 Vol.20,2017」の発行が遅れている。
→担当者(糸井)の事務作業の対応の遅れ、著者校正での投稿者とのやりとりによる
- ・vol.21,2018について、6月末日時点で投稿論文なし。
- ・今年度より、学会誌との一括編集となるが、投稿論文なしの扱いについて検討する。

【審議事項】特になし

9. 養成校連絡協議会[李 理事]

【報告事項】

- ・学生会員入会情報6月29日 現在55名
群馬医療福祉大学:24名、前橋医療福祉専門学校:3名
太田医療技術専門学校:2名、群馬大学:26名
- ・養成校連絡担当教員に、学生会員への「空っ風通信」紙配布の希望調査中3.9月中の養成校担当教員の打ち合わせを計画(学生会員募集・臨地実習書式)

【審議事項】

- 1) 学生会員の県士会広報活動可能性について
→リレーフォーライフなどで活用していければ良いか
福利厚生部、広報部などから連絡をしてもらう。
- 2) 学生会員のメールエラーに関して
→事務局からエラーリストを李理事に送り、各養成校へ連絡いただく。

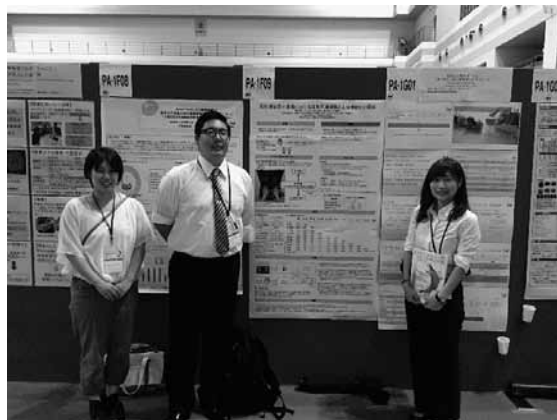
Ⅲ. その他連絡事項

次回 第3回理事会開催について
2018/9/19(水) 19:00~

第52回日本作業療法学会で発表しました

沼田脳神経外科循環器科病院 高橋 祐紀

第52回日本作業療法学会に向けて、昨年秋頃から学術研究部の勉強会へ参加し始めました。勉強会は月に一度行われ、自分が行いたい研究ができるように、参加者全員で研究について話したり、行うべき課題を見つけて研究を進めたりしていきます。初めての研究でしたので、分からないことだらけで本当に研究としてまとまるのか不安で一杯でした。しかし、学術部の先生が研究を進めていく上で必要な知識を教えて下さり、丁寧なご指導・ご教示をして下さったおかげで、研究を終えることができました。また、共に研究に取り組んだ学術部の方々とも、お互いの研究について話し合いながら進めていくことができたので、モチベーションを維持しながら取り組むことができました。初めての日本作業療法学会は、様々な分野の学術研究がたくさん発表されていたので圧倒されましたが、自分もOTの1人として研究発表という舞台に立つことができた気がして達成感を覚えました。OTとして新しい1歩を踏み出す機会をくださった学術部の皆様に厚くお礼申し上げます。今後も自己研鑽し、学術研究の活動に取り組んでいきたいと思っています。



日本作業療法士協会からのお知らせ

紙媒体の学術誌『作業療法』配付希望を受け付けています

一般社団法人日本作業療法士協会平成30年度第2回定例理事会(6月16日)にて、2019年2月より学術誌『作業療法』の電子媒体による発行が決定しておりますが、第三十八巻(2019年2月号～2019年12月号)につきまして、希望する会員には紙媒体での配付も無料で行います。

(2020年以降の紙媒体発行については、検討のうえ、あらためて決定されます)

紙媒体配付希望会員は、協会HP>会員向け情報>TOPICS>紙媒体の学術誌『作業療法』配付希望受付よりWeb 上からご連絡ください。(https://jp.surveymonkey.com/r/OT_gakujutsu)

また、次の QR コードからも受付画面にアクセスできます。



受付期間は、2018年8月15日(水)～2018年10月15日(月)となります。
※配付希望連絡をされた翌週中に事務局より連絡受領確認メールを連絡時に記入されたアドレスへお送りしますので、大切に保管をしておいてください。

なお、電子媒体化に関する説明については、機関誌第77・78号(2018年8月号)および学術誌『作業療法』(2018年10月号関連記事掲載予定)をご覧ください。

平成30年度 こころのふれあいバザー展 参加報告

上毛病院 高橋 雄、羽子田 隼兵

県士会広報部として、例年県内で開催される「こころのふれあいバザー展」に参加してきました。

このバザー展は、平成16年より毎年開催され、広報部はここ数年、広報活動の一環として、参加させていただいています。今年は、精神科作業療法士11名、当事者2名、学生ボランティア7名の協力を得、うちわ作りやスタンプラリーを実施しました。また、木の葉に見立てた紙に、参加者の皆様にとって元気になる作業(生活行為)を記載していく「元気の木」も併せて製作しました。

うちわ作りでは100名程度、スタンプラリーでは208名の方にご参加いただきました。当会が、参加者に向け、バザー展の感想アンケート(自由記述)を実施したところ、121名から回答を得られ(回収率=58.2%)、回答のほぼ100%で「楽しかった」「面白かった」「素晴らしかった」など、ポジティブな意見が挙げられていました。運営側には、1～5年目の若い作業療法士が多く参加くださり、よい顔合わせの場となるとともに、それぞれの所属施設で抱えている悩みや、県内の精神科作業療法の現状について情報共有を図るきっかけとなりました。

このように、参加者・運営者両者にとって有意義な本イベントですが、現在、当会としてはマンパワー不足などの影響から運営上の課題も抱えているのが現状です。今後も、イベントへの参加を継続していくにあたり、一緒に運営をお手伝いしてくださる方や、課題解決のためのナイスアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、次年度以降、是非ご協力をよろしくお願いします。学生会員の皆様も、是非お気軽にご参加ください!皆で楽しい会(部)を創り上げていきましょう。

最後に、今年度、運営にご協力をいただきました、有資格者の皆様、当事者のお二方、学生ボランティアの皆様に感謝申し上げます。



うちわ作りの様子



スタンプラリーの様子



参加者で製作した元気の木



学生ボランティア(養成校1年生)の面々

入部、運営参加に関するお問い合わせ:joumou-ot@jnk.jp(上毛病院 作業療法室、高橋、羽子田)

精神障がい者バスケット交流会 ドリームバスケットボールキャラバン2018～2019 群馬に参加して

群馬県看護協会 訪問看護ステーション高崎 勝野 恵

平成30年8月25日、精神障がい者バスケット交流会に参加しました。午後の37℃という猛暑の中でしたが皆さんとても元気でした。

参加者は当事者11名、日本ドリームバスケットボール協会委員3名、協力団体スタッフ1名、家族・関係者5名、市民・ボラ1名の21名です。

参加者が元気だった理由として、経験者の方が多くバスケットが好きな方が多かったこと、共催のプロバスケットチームの群馬クレインサンダーズからユニフォームやリストバンド等の賞品があったことなど、協会委員の方々が準備を進めてくれた結果だと思います。

会長は帝京平成大学健康医療スポーツ学部作業療法学科の鎗田OT、副会長は精神保健福祉士でもある佐藤OTです。千葉、東京など遠方から企画してくれました。

お話によると、「精神障害者の行政が運営している正式スポーツは、バレーボールしかない。今までは自分たちで資金の調達をしていたが、今年度は住友生命の支援で行えている。来年度は支援が打ち切りとなるため、今後も継続できるように活動を続けていきたい。台湾や韓国とも交流できるよう進めている。」とのことでした。

私は初心者で最初は緊張しました。誰が当事者か分からない雰囲気、写真撮影に不同意の方は緑のバンドをすることになっており、している方が当事者かと察するところから始まりましたが、ボールを使ったウォーミングアップや二人一組でのボールの取り合い、賞品がかかったフリースローや試合形式を行うなかで笑顔がみられるようになり、知らない者同士でもハイタッチで喜ぶなど全員が交流する場面が見られました。

フリースローでは勝ち抜けて賞品をもらえることになり、優勝して素敵なユニフォームを頂きました。

交流会の最後には参加者全員が楽しめて来年もやりたいと希望されていました。

来年も開催される予定なので、興味のある方はぜひご参加ください。



交流会の様子

平成30年8月25日(土) 13:00～16:00

会場：ハーモニー高崎ケアセンター体育館

共催：群馬クレインサンダーズ、群馬マジック

後援：一般社団法人 群馬県作業療法士会

協賛：Arms-Lab

県士会学生組織立ち上げと 養成校連絡協議会の今後の活動について

李範爽(養成校連絡協議会 特命担当理事)

専門職の発展には、その団体の現状と課題、将来像について会員のみならず学生の当事者意識が重要ですが、県内では学生の県士会活動参加が不十分なままでした。そこで①学生が早期から作業療法の業務や社会的役割について知り・体験する、②先輩と顔の見える関係を作ることによって臨地実習や就職活動等に役立てる、③他養成校の学生と交流を図ることで共同体意識を高める、そして④学生の臨地実習や就職活動に対する要望を県士会レベルで対応する、を目的に学生組織を立ち上げることになりました。

4月22日(日)に開かれた第1回県士会役員メンバーと学生組織との交流会には、群馬医療福祉大学、太田医療技術専門学校、前橋医療福祉専門学校、群馬大学の学生24名と教員5名、県士会からは新井会長をはじめ理事5名が参加しました(写真1)。当面の活動として、①学生の県士会研修会参加、②学生メンバーだけの催し、③学生を対象にした臨地実習に関するアンケートを実施することが紹介されました。

平成32年度養成施設指定規則改正に向けた準備が活発になっています。臨床実習に関しては、①指導者の要件が厳しくなり(業務従事5年以上、講習義務)、②いわゆるクリニカルクラークシップの努力規定が盛り込まれる予定のようです。養成校と実習施設との個別関係で成り立っていた今までの体制の中で、これらの条件をクリアすることはほぼ不可能と思われます。県士会主導で対策を講じ、この難題を好循環へと変える努力が求められていると自覚しています。私見を申し上げます。①実習関連業務の効率化(4養成校共通の評価基準・書式など)、②群馬県独自の臨地実習モデルケース集の発行、③実習指導者メンター制度など養成校と実習施設のwin-win関係構築に向けた取り組みが必要であると考えます。



▲写真1 第1回県士会役員メンバーと学生組織との交流会

「新人症例発表会2019」のお知らせ

群馬県作業療法士会では、
新人症例発表会(事例報告会)を下記のように開催致します。
皆様の参加を心よりお待ちしております。

【日時】平成31年4月21日(日)

9:00~15:30(予定)

【場所】高崎市総合福祉センター(予定)

【発表希望者の登録】

平成30年11月28日(水)〆切

※詳細については、県士会ホームページにてご確認ください。



ぐんま作業療法フェスタ2019

日時 平成31年1月20日(日)予定 10:00~15:00

場所 イオンモール高崎専門店街2階 イオンホール

[内容(仮)]※一部変更あり

- ①ビーズのプレスレット作り ②割りばし鉄砲&的当てゲーム ③体力測定
- ④職業紹介・リハビリ相談・進路相談

作業療法の魅力や楽しさを感じられる参加型のイベントになっております。
お子様連れでの参加OKです!



無料ですので、
たくさんのご参加
お待ちしております!



ニュース記事募集! 教えて! あ・な・たの作業療法

ニュース編集部では、県士会員の皆さまが、「読みたいと思う」「読んでタメになった」…と思えるようなからっ風通信にすることを常に考えております。

そこで、新しいコーナーとして作業療法紹介記事を募集します! 内容としては…

「臨床における治療方法の紹介」

- ・学会発表の様な難しいものではなく、対象疾患や効果の簡単な紹介など
- ・作成した創作物などの写真や材料
- ・患者さま情報は載せないで下さい
- ・写真があると分かりやすいです など

「作成自助具の紹介」

- ・自助具の写真
- ・使い方の説明, 対象疾患
- ・作り方(企業秘密でなければ) など

「病院・施設主催のイベント紹介」

- ・地域へのイベント
- ・啓発活動
- ・日常の勉強会の内容や様子 など

役立つプチ情報を出し合いませんか?!

投稿をお待ちしております!!

投稿先: dc_nanohana@yahoo.co.jp

西毛病院 反町



大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。ベテランから新人まで多くのOTが仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたい方は、ぜひ大学院で自分の可能性に挑戦してみたい方は、ぜひ

毎週木曜日の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はご見学下さい。

群馬大学大学院 保健学研究科
教授 李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

！仕事以外の時間も大切に 過ごしたい方 私たちと一緒に 働きませんか？

PT・OT 募集 ①訪問看護ステーション所属のリハビリ業務 ②デイサービス所属のリハビリ業務

決められた時間内に効率よく働き、家族と過ごす時間や自分のための時間を大切にしたい人が働きやすい環境が整っています！

勤務地

- ①前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア または 桐生・みどり・太田・足利・大泉エリア
- ②桐生市 または 前橋市

給与

基本給＋資格手当＋実績手当
260,000円～
(※社員・パートは勤務時間により変動)
経験考慮いたします

休日・休暇

- 年間120日以上
- 土・日・祝日(12/23,成人の日を除く)
- 夏季休暇、年末年始
- 特別検診等休暇、参観休暇、介護実しんで休暇
パパ実休など独自の特別有給休暇
- 年次有給休暇取得率75%(平成27年度実績)

ココロの特徴

- ★「お互い様」の風土が根付き、急病など突然のお休みへのフォロー体制が整っています。
- ★決められた時間内に効率よく働くことを重視。
1ヶ月あたりの平均残業時間は1時間未満です。
- ★有休を積極的に取得し、たくさん遊びに行くことを推奨しています。

お問い合わせ先

Coco-Lo 0277-55-5422 担当：しかぎ
受付時間/8:30～17:30(土・日・祝休)
〒371-0024 群馬県桐生市相生町2丁目261-3
http://coco-lo.net/ 働き方改革への先進的な取り組みで国や県からの
受託実績多数。ぜひ一度弊社ホームページをご覧ください！

勤務形態／勤務時間

- 正社員/8:30～17:30 ※8:00～18:00の間で調整可
- 準社員/8:30～17:30のうち4.5時間以上
小学校卒業までの子を持つ親または同級生等の介護を行っている場合
- パート/8:30～17:30のうち3時間以上

待遇・福利厚生

- 各種保険加入(健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険)
- 退職金制度あり ■賞与年3回(毎年度実績)
- 保育士常駐の施設内託児室
- 訪問所属は直行直帰制度あり
- フィットネスジム割引 ■旅行手当 など

研修・キャリアアップ支援制度

- 入社後半年間のプリセプター制度
- ビジネスマナー研修、メンタルヘルス勉強会、
社長勉強会など勤務時間内の様々な勉強会
- 症例発表、職種別勉強会など専門分野の研修
- 外部研修参加費、交通費、宿泊費の補助(回数制限なし)
- 資格手当上乗せ:対象資格は2017年度現在80種類以上
- 試験対策勉強会など、新たな資格取得をサポート
クアマネ、介護福祉士、社会福祉士など毎年合格率がアップしています！



投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した・・・などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

はやいもので、今年も下半期に突入し、勤務先で脱水症となる患者さまが多発した暑さから一転し、肌寒い日が続く、秋の訪れや年の終わりを実感し始めている今日この頃。

後半は広報部にとってたくさんのイベントが控えている。特に高崎イオンで開催する「OTフェスタ」は年々ブラッシュアップされてきており、参加者も増加傾向にある。お子さま連れでも楽しめるよう準備を進めているので、県士会員の皆さんにもぜひ一度足を運んで頂きたい。

徐々に寒くなり、感染症の時期が始まったり、年の終わりが近づくことで疲労の蓄積や体調を崩しやすくなると思いますので、ご自愛しながら日常の業務に励んで下さい。

S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 新井 健五

発行所 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 反町 拓海 編集委員 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 星野印刷株式会社